

2024年2月16日

各位

株式会社 紀陽銀行

ファイナンスド・エミッション算定高度化の取り組み開始について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、SCSK株式会社（代表取締役 執行役員 社長 當麻 隆昭）の支援のもと、企業・金融機関・政府機関向け気候管理・炭素会計プラットフォーム（CMAP）を提供するパーセフォニ社（本社：米国アリゾナ州テンピ）の温室効果ガス（GHG）排出量算定プラットフォームを活用し、ファイナンスド・エミッション^{（※）}算定高度化への取り組みを開始しますのでお知らせいたします。

※ファイナンスド・エミッション…金融機関の投融資先の温室効果ガス排出量

1. 本取り組みの概要

気候変動問題への対応において、金融機関には自社のカーボンニュートラルを推進することはもちろんのこと、Scope 3を含めた排出状況の把握と取引先企業の脱炭素化の取り組み支援が求められています。また、プライム上場企業では、気候変動などのサステナビリティ情報の開示が義務化されており、株式市場や投資家、規制当局等からの要請にも対応していく必要があります。

このような状況下で、当行は、パーセフォニ社が提供する国際的な排出算定基準であるGHGプロトコルやPCAFに厳密に準拠する炭素会計プラットフォームを活用し、多数の投融資先のGHG算定を一括しておこなうことが可能となります。算定作業の大幅な効率化により、ファイナンスド・エMISSIONの分析・管理を進め、投融資先へのエンゲージメント施策の検討など地域の脱炭素化への取り組みを強化してまいります。

<ファイナンスド・エMISSION算定高度化への取り組みイメージ>



2. SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングからシステム開発、検証サービス、ITインフラ構築、ITマネジメント、ITハード・ソフト販売、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）まで、ビジネスに必要なすべてのITサービスをフルラインアップで提供しています。また、ITを軸としたお客さまや社会との共創によるさまざまな業種・業界や社会の課題解決にむけた新たな挑戦に取り組んでいます。パーセフォニ社の日本初となる国内代理店契約を2022年2月に締結しました。

<https://www.scsk.jp/>

3. パーセフォニ社について

パーセフォニ社は、気候変動管理・炭素会計プラットフォーム（CMAP）のリーディングカンパニーです。企業や金融機関は、国際的な炭素会計基準であるPCAFやGHGプロトコルに対応する当社のSaaS型ソリューションを利用することにより、国内外のステークホルダーや規制当局が求める気候変動に関する情報開示業務を、高い信頼性、透明性、利便性をもっておこなうことができます。パーセフォニ社のプラットフォームは、「炭素分野のERP（経営資源を統合的に管理し、経営の効率化を図る手法）」であり、Scope 1から3までの（自社や国内外のサプライチェーン全体での）炭素管理の一元化を実現し、企業は従来の経理業務と同様の厳密さと信頼性をもって、炭素会計・管理業務を進めることができます。

<https://www.persefoni.com/ja/>

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

